

◎ リスクで考える

◎ リスクの視点

一寸先は闇といわれるように、将来を確実に予測することはできません。したがって、たとえ耐震基準を満たしていても倒壊する可能性はゼロではありません。一方、基準を満たしていないと必ず倒壊するというわけでもなく、単に、強度が低いほど、倒壊する可能性が高くなるのです。すなわち、**安全性は、安全か安全でないかの二値ではなく、連続量**なのです。このように、安全性を連続的に取り扱うことを「リスクの視点」といいます。

◎ あなたにとって最適な「戦略」を決めましょう

私たちは皆、**何を大切にするのか**といった価値観やライフサイクルが異なります。大地震が来た時、「命さえあれば」と考える人がいる一方、「その後の生活も支障なく」と考える人もいるでしょう。

子供が育って家を出て行くであろう10年後に建て替えを考えている人にとっては、今すぐに耐震改修をすることは無駄と映るかもしれません。すなわち、どのような地震に対して、何を守るために、いつ、どの水準まで耐震改修をすることが最良なのかは人それぞれで異なるはずです。しかし、どれが最良なのかは、なかなか分かりません。

いくつかの耐震改修戦略を想定し、それぞれの戦略に必要な費用と、それによって地震リスクがどの程度小さくなるかを比較検討することで、あなたにとって最適な「戦略」を考えてみましょう。

（「建築士・設計士の方へ」もお読みください）